

ホール・劇場のアクセシビリティ実態調査2024 報告書

国際障害者交流センタービッグ・アイは、「国連・障害者の十年（1983～1992年）」を記念して、2001年（平成13年）に厚生労働省（当時は厚生省）が、障害者の「完全参加と平等」の実現を図るシンボル的な施設として設置し、障害のある人もない人も、すべての人々が文化芸術活動に参加できる機会を創出するとともに、多様な人々が共に生きる共生社会の実現をめざして様々な事業活動を行っている。

2024年（令和6年）4月1日から事業者による障害のある人への「合理的配慮」が義務化されたことを踏まえ、より多くの方々に文化芸術を届けられる環境づくりを普及、推進することを目的に、「ホール・劇場のアクセシビリティ実態調査2024」が行われることとなった。

前回2021年（令和3年）の実態調査は、公益社団法人全国公立文化施設協会施設名簿に記載された公立の劇場・音楽堂が調査対象であったが、今回は公立にとどまらず、アリーナ等の大規模音楽イベント会場や民間ホール、ライブハウス等も対象に含めた。

本報告は、その実態調査の結果である。

目次

1. 調査の概要	2
2. 基本情報	3
調査対象は1,324ホール／995施設	
施設へのアクセス	
最寄り駅からの距離	
施設の障害者専用駐車スペース	
施設の障害者専用駐車スペース（台数）	
3. 施設共用部分の設備と運営について	8
施設の館内設備	
音声案内のある場所	
施設のトイレ	
施設の職員	
窓口対応	
施設の主催事業における鑑賞サポート	
4. ホール（劇場）の設備について	16
ホールの規模	
ホールのトイレ	
ホールの客席	
客席内、車椅子スペースの位置	
ホール内のインターネット環境	
ホール内で利用できる通信会社	
アンケート集計表	22
調査票	33

1. 調査の概要

アンケート調査の概要は以下のとおりである。

調査名：ホール・劇場のアクセシビリティ実態調査2024

調査対象：公立の劇場・音楽堂のほか、アリーナ等の大規模音楽イベント会場や民間ホール、ライブハウス等。

調査方法：Excel調査票によるアンケート形式

電子メールにて調査票（Excelファイル）を送信し、（約2週間の留め置き）記入後は期日までに返信してもらう。電子メールが届かなかった施設には調査票を郵送し、返送してもらう。

調査内容：① 基本情報

駅からのアクセス状況／最寄り駅からの距離／障害者専用駐車スペースの有無等。

② 施設共用部分の設備と運営について

エレベーターやスロープ、点字ブロック等館内設備、受付における手話・筆談対応等案内の有無／トイレの状況／障害者対応職員の有無／窓口対応の有無／主催事業における鑑賞サポートの状況等。

③ ホール（劇場）の設備について

規模／トイレの状況／車椅子スペースや親子室など客席の状況／インターネット環境等。

調査時期：2024年10月1日～12月20日

回答数：1,333ホール（回収施設数995件）／配布2,719ホール（回収率49.0%）

資料：『2023年度版公益社団法人全国公共文化施設協会施設名簿』（2023年11月発行）

（社）日本照明家協会ウェブサイト「全国ホール・劇場一覧」<https://www.jaled.or.jp/hall_list/>

2. 基本情報

調査対象は1,324ホール／995施設

回答のあったホールは1,333件である。このうち、閉館中との回答が9ホールからあったため、本調査の対象は1,324ホールとする。(n=1,324)

《問1-3》営業状況

上段:度数 下段:%	合計	営業中	休館中	閉館	無回答
全体	1,333 100.0	1,276 95.7	48 3.6	9 0.7	- -
地域ブロック	北海道	84 100.0	84 100.0	- -	- -
	東北	157 100.0	152 96.8	5 3.2	- -
	北関東・甲信	127 100.0	123 96.9	3 2.4	1 0.8
	南関東	221 100.0	202 91.4	19 8.6	- -
	北陸	73 100.0	70 95.9	3 4.1	- -
	東海	162 100.0	155 95.7	6 3.7	1 0.6
	近畿	198 100.0	189 95.5	6 3.0	3 1.5
	中国	118 100.0	116 98.3	1 0.8	1 0.8
	四国	41 100.0	40 97.6	1 2.4	- -
	九州・沖縄	152 100.0	145 95.4	4 2.6	3 2.0

休館中48ホールの再開見込み時期は次のとおりである。

《問1-3-1》再開見込み時期（年）

上段:度数 下段:%	合計	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	無回答
全体	48 100.0	5 10.4	31 64.6	6 12.5	2 4.2	1 2.1	3 6.3
地域ブロック	北海道	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	東北	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	- -	- -
	北関東・甲信	3 100.0	- -	1 33.3	- -	2 66.7	- -
	南関東	19 100.0	- -	15 78.9	4 21.1	- -	- -
	北陸	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	1 33.3
	東海	6 100.0	1 16.7	5 83.3	- -	- -	- -
	近畿	6 100.0	- -	4 66.7	- -	1 16.7	1 16.7
	中国	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	四国	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	九州・沖縄	4 100.0	1 25.0	3 75.0	- -	- -	- -

調査対象1,324ホールの都道府県別内訳は次のとおりである。

地域ブロックの内訳

地域ブロック	回答数	都道府県内訳		
(1) 北海道ブロック	84	北海道	84	
(2) 東北ブロック(6県)	157	青森県	19	
		岩手県	37	
		宮城県	42	
		秋田県	12	
		山形県	14	
		福島県	33	
(3) 北関東・甲信ブロック(5県)	126	茨城県	17	
		栃木県	27	
		群馬県	27	
		山梨県	14	
		長野県	41	
(4) 南関東ブロック(4都県)	221	埼玉県	36	
		千葉県	33	
		東京都	90	
		神奈川県	62	
(5) 北陸ブロック(4県)	73	新潟県	37	
		富山県	13	
		石川県	8	
		福井県	15	
(6) 東海ブロック(4県)	161	岐阜県	33	
		静岡県	34	
		愛知県	70	
		三重県	24	
(7) 近畿ブロック(6府県)		滋賀県	19	
		京都府	28	
		大阪府	52	
		兵庫県	70	
		奈良県	18	
		和歌山県	8	
(8) 中国ブロック(5県)		鳥取県	12	
		島根県	14	
		岡山県	22	
		広島県	36	
		山口県	33	
(9) 四国ブロック(4県)		徳島県	9	
		香川県	10	
		愛媛県	14	
		高知県	8	
(10) 九州・沖縄ブロック(8県)		福岡県	45	
		佐賀県	4	
		長崎県	12	
		熊本県	19	
		大分県	13	
		宮崎県	15	
		鹿児島県	20	
		沖縄県	21	
合計		1,324	1,324	

調査対象1,324ホール（995施設）について、単館・複合施設の別は次のとおりである。「単館」が71.6%を占めており、特に北陸において「単館」の比率が高い（82.3%）。「1つの施設に2ホール」は、全体では23.7%であるが、東北で35.7%、南関東で32.0%となっている。

単館／複合施設の別

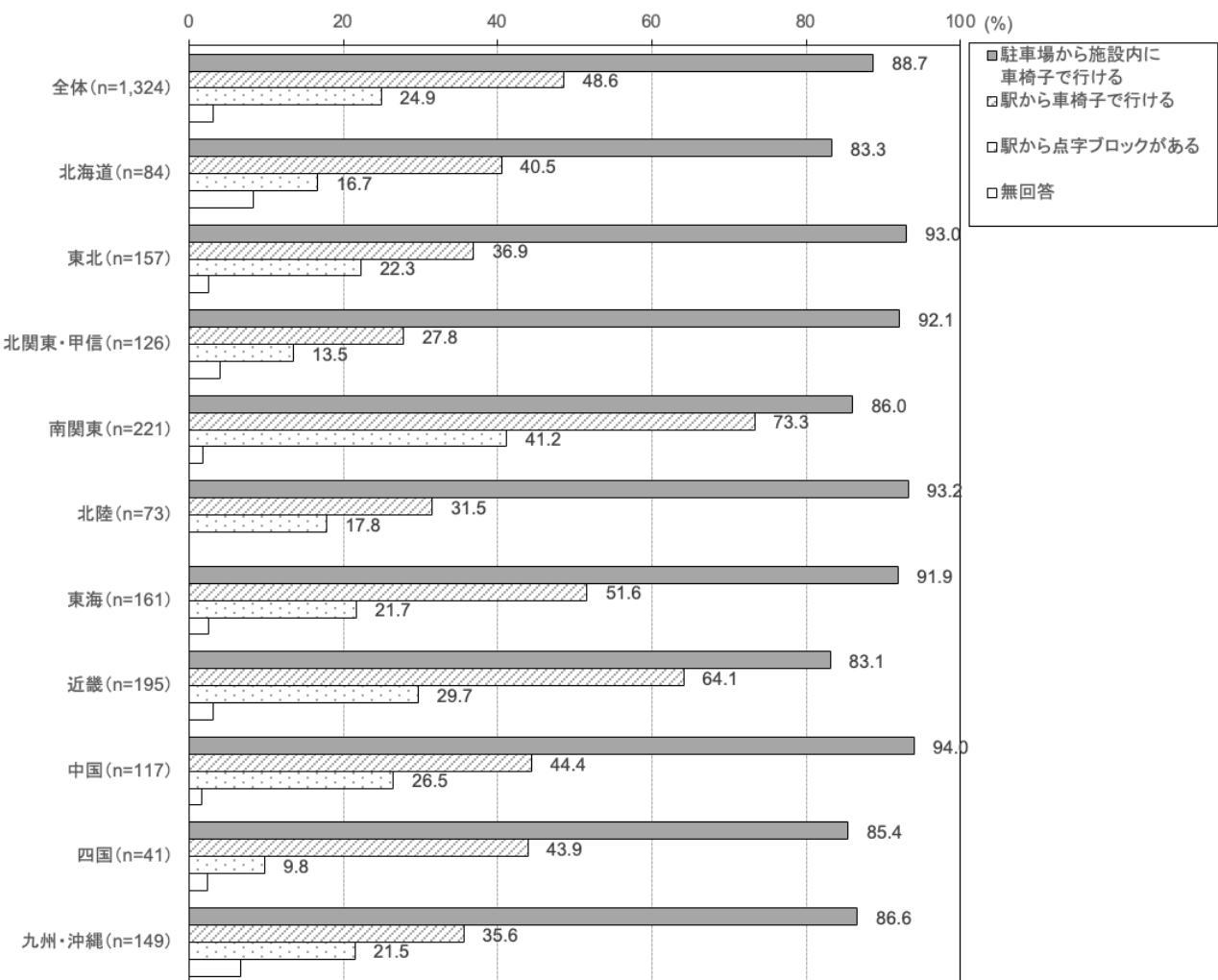
地域ブロック	上段:度数 下段:%	合計	単館	1つの施設に 2ホール		1つの施設に 3ホール以上	無回答
				236	47		
全体		995	712	236	47	-	-
		100.0	71.6	23.7	4.7	-	-
北海道	68	53	14	1	-	-	-
	100.0	77.9	20.6	1.5	-	-	-
東北	112	70	40	2	-	-	-
	100.0	62.5	35.7	1.8	-	-	-
北関東・甲信	93	62	28	3	-	-	-
	100.0	66.7	30.1	3.2	-	-	-
南関東	153	95	49	9	-	-	-
	100.0	62.1	32.0	5.9	-	-	-
北陸	62	51	11	-	-	-	-
	100.0	82.3	17.7	-	-	-	-
東海	120	88	25	7	-	-	-
	100.0	73.3	20.8	5.8	-	-	-
近畿	148	112	24	12	-	-	-
	100.0	75.7	16.2	8.1	-	-	-
中国	93	73	16	4	-	-	-
	100.0	78.5	17.2	4.3	-	-	-
四国	32	25	5	2	-	-	-
	100.0	78.1	15.6	6.3	-	-	-
九州・沖縄	114	83	24	7	-	-	-
	100.0	72.8	21.1	6.1	-	-	-

施設へのアクセス

「駅から車椅子で行ける」「駐車場から施設内に車椅子で行ける」「駅から点字ブロックがある」の項目のなかであてはまるものをたずねたところ、全体では「駐車場から施設内に車椅子で行ける」が88.7%となっている。

地域別にみたところ、「駐車場から施設内に車椅子で行ける」の項目については地域による差違はあまりみられなかったが、「駅から車椅子で行ける」の項目については、もっとも多かった南関東73.3%と、もっとも少なかった北関東・甲信27.8%の差が45ポイントもあった。「駅から点字ブロックがある」の項目については、もっとも多かった南関東41.2%と、もっとも少なかった四国9.8%の差は30ポイントであった。駅からの距離の近さなど地理的環境の違いが表れたと思われる。

《問1-4》貴施設へのアクセスについて、あてはまるものを選んでください。（複数回答可）



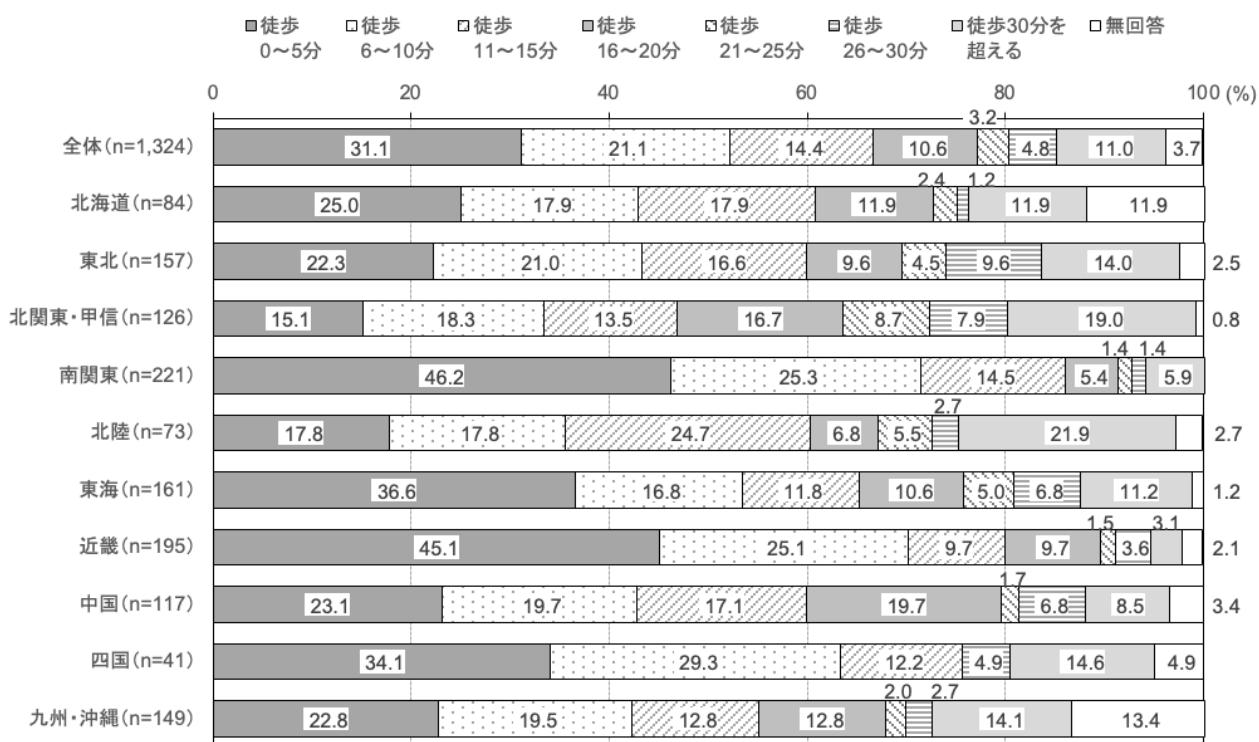
最寄り駅からの距離

最寄り駅から施設までの距離は、全体では「徒歩0～5分」がもっとも多く、31.1%となっている。

地域別にみると、「徒歩0～5分」は南関東が46.2%、近畿が45.1%となっており、全体よりも15ポイントほど高い。次段階の「徒歩6～10分」「徒歩11～15分」を加えると、「徒歩15分以内」は南関東で86.0%、近畿で79.9%となり、駅からの距離は他地域よりもかなり近い傾向があることがわかる。

一方、「徒歩30分を超える」は北陸が21.9%であり、全体の11.0%よりも10ポイント高い。

《問1-5》最寄り駅から貴施設までの距離

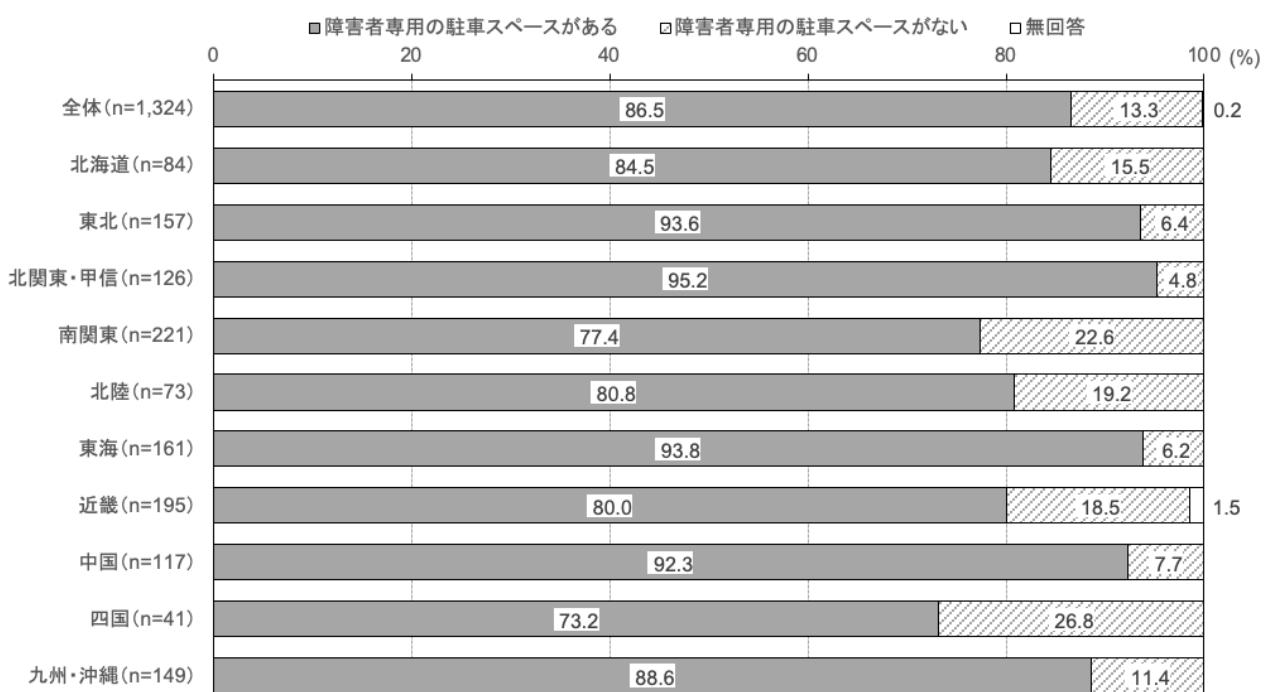


施設の障害者専用駐車スペース

障害者専用駐車スペースについては「ある」が86.5%、「ない」が13.3%である。

地域別にみると、「ある」が90%を超えてるのは北関東・甲信(95.2%)、東海(93.8%)、東北(93.6%)、中国(92.3%)であり、80%を割っているのは南関東(77.4%)と四国(73.2%)となっている。

《問1-6》貴施設の障害者専用駐車スペースについてお答えください。



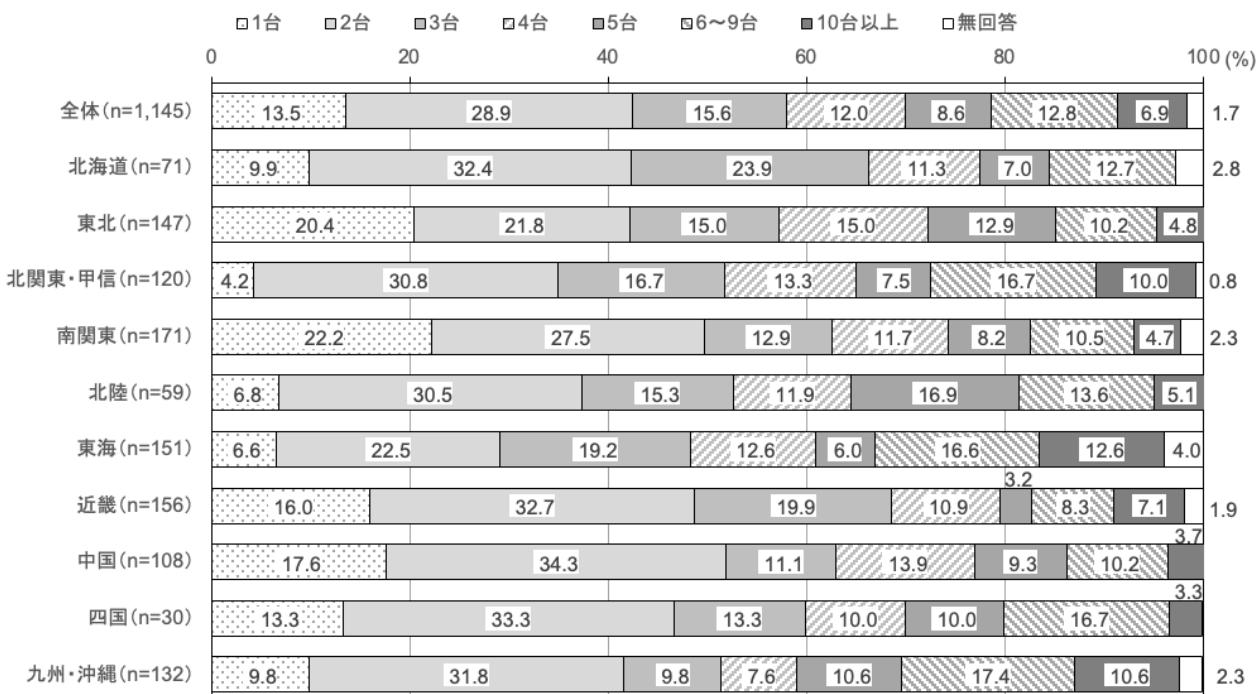
施設の障害者専用駐車スペース（台数）

「障害者専用駐車スペースがある」の関連でその台数をたずねたところ（n=1,145）、もっと多かったのは「2台」（28.9%）であった。「1台」は13.5%、「10台以上」は6.9%である。

地域別にみると、「1台」が目立って多いのは南関東（22.2%）と東北（20.4%）であり、「10台以上」が目立って多いのは東海（12.6%）であった。

単館/複合施設の別（p.4）を参照しても東海で「10台以上」が多い理由は見当たらないが、他機能併設による駐車場の共用かもしれない。

施設の障害者専用駐車スペース（台数）



3. 施設共用部分の設備と運営について

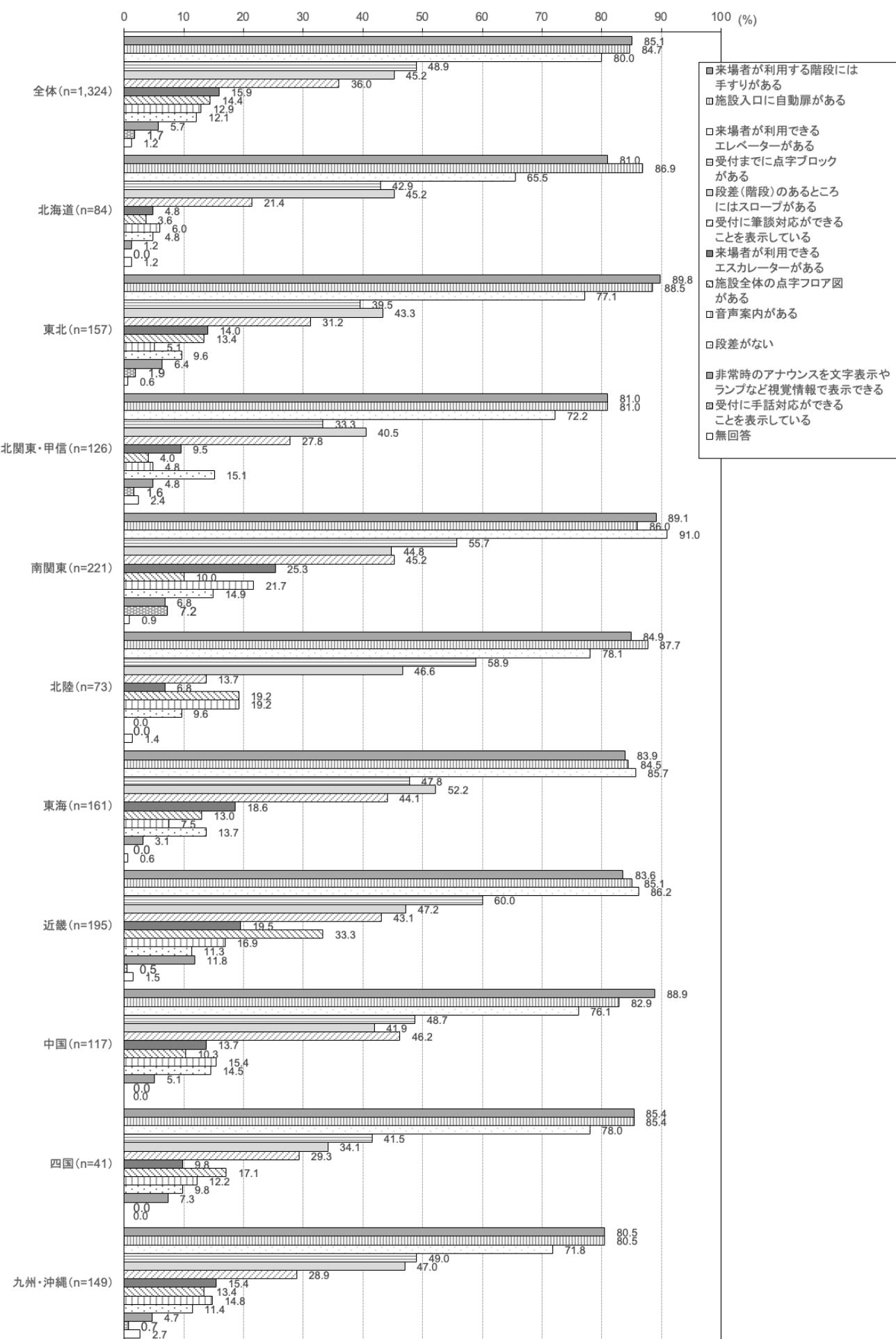
施設の館内設備

用意した選択肢の中で80%を超えたのは、「来場者が利用する階段には手すりがある」（85.1%）、「施設入口に自動扉がある」（84.7%）、「来場者が利用できるエレベーターがある」（80.0%）であった。20%を下回ったのは、「来場者が利用できるエスカレーターがある」（15.9%）、「施設全体の点字フロア図がある」（14.4%）、「音声案内がある」（12.9%）、「段差がない」（12.1%）、「非常時のアナウンスを文字表示やランプなど視覚情報で提示できる」（5.7%）、「受付に手話通訳ができることを表示している」（1.7%）となっている。

地域別にみると、上位3項目については、北海道で「来場者が利用できるエレベーターがある」（65.5%）が10ポイント以上少なかったほかは、それほど大きな変化はなかった。

全体と大きな違いがあったのは、近畿において「施設全体の点字フロア図がある」（33.3%）が全体の14.4%に比べて18ポイント高いこと、中国において「受付に筆談対応ができることを表示している」（46.2%）が全体の36.0%に比べて10ポイント高いことである。

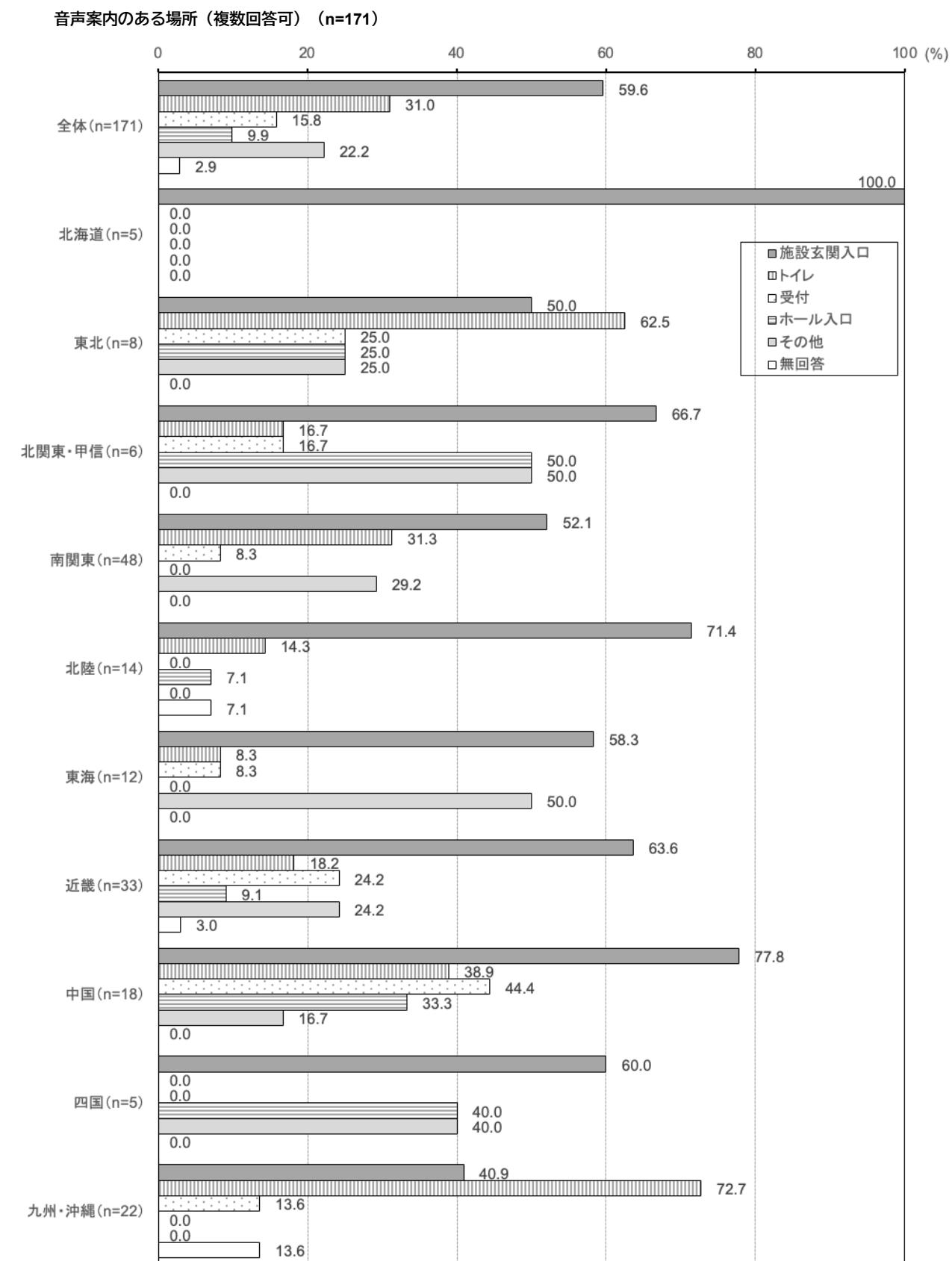
《問2-1》貴施設の館内設備について、あてはまるものを選んでください。（複数回答可）



音声案内のある場所

前問《問2-1》において「7. 音声案内がある」と回答したホール・劇場 (n=171) で、音声案内のある場所をたずねたところ、「施設玄関入口」 (59.6%)、「トイレ」 (31.0%)、「受付」 (15.8%)、「ホール入口」 (9.9%) となつた。

地域別は、各サンプル数が少なく標本誤差が大きいため単純比較は難しいが、1位の「施設玄関入口」を抑えて順位が逆転したのが、東北および九州・沖縄における「トイレ」であった。(東北62.5%、九州・沖縄72.7%)

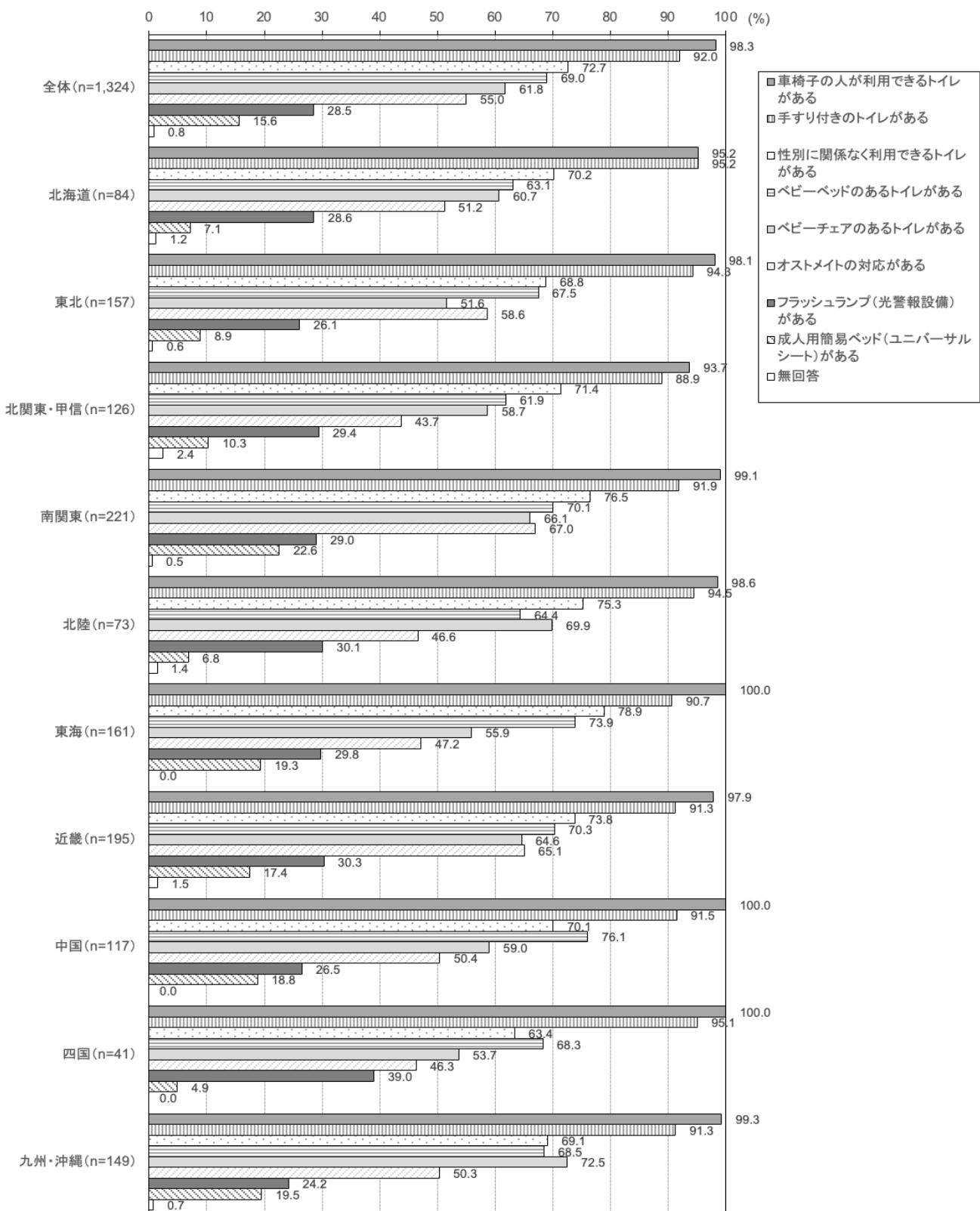


施設のトイレ

施設共用部分のトイレ設備について、半数を超えた項目は「車椅子の人が利用できるトイレがある」(98.3%)、「手すり付きのトイレがある」(92.0%)、「性別に関係なく利用できるトイレがある」(72.7%)、「ベビーベッドのあるトイレがある」(69.0%)、「ベビーチェアのあるトイレがある」(61.8%)、「オストメイトの対応がある」(55.0%)であった。

地域別にみると、「ベビーチェアのあるトイレがある」が多かったのは九州・沖縄(72.5%)であり、「オストメイトの対応がある」が多かったのは南関東(67.0%)、近畿(65.1%)であった。

《問2-2》貴施設のトイレについて、あてはまるものを選んでください。（複数回答可）



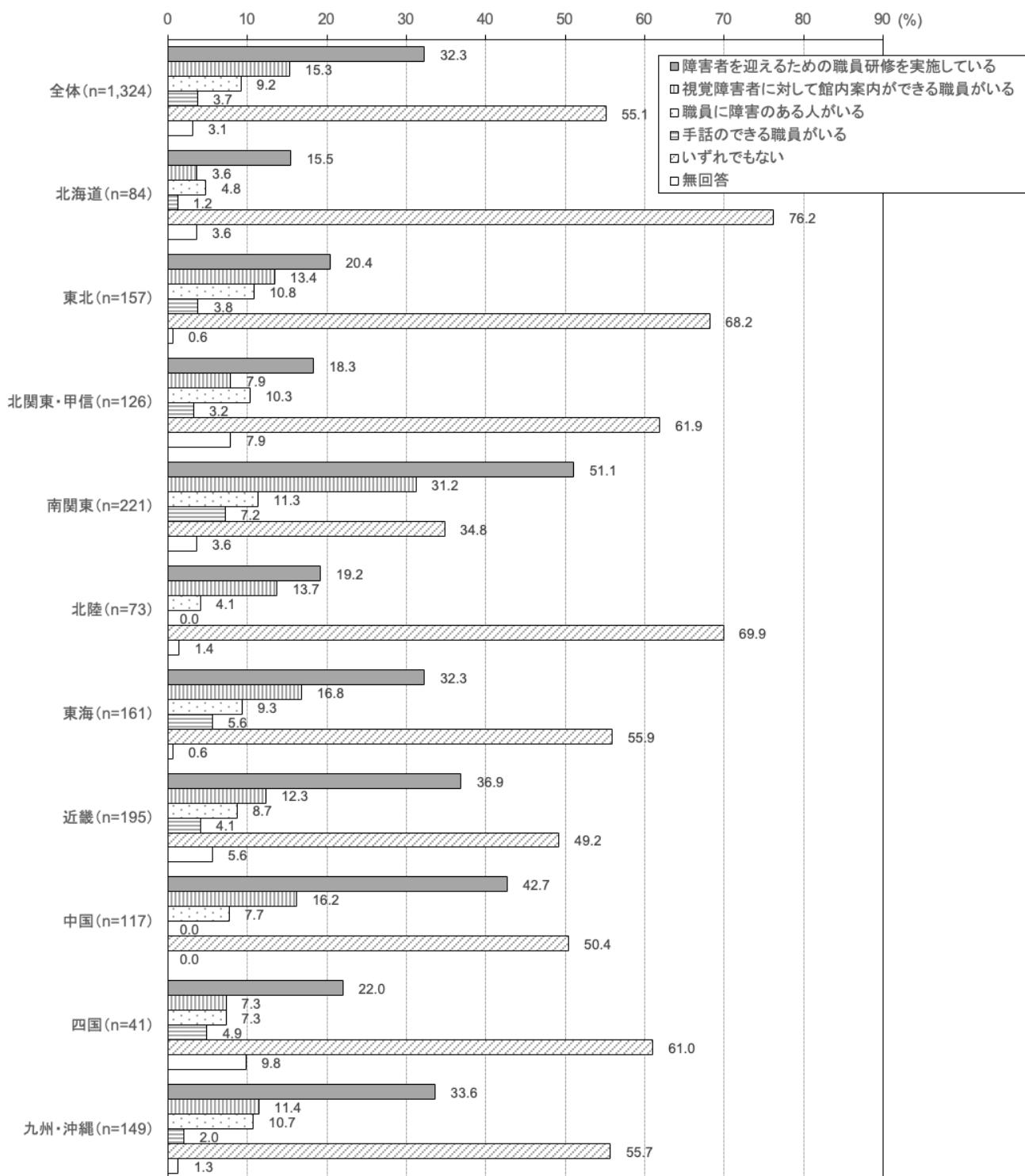
施設の職員

障害者の問い合わせに応えられる職員がいるかどうかについては、「(用意された選択肢の)いずれでもない」(55.1%)が半数を超えたが、「障害者を迎えるための職員研修を実施している」が32.3%、「視覚障害者に対して館内案内ができる職員がいる」15.3%、「職員に障害のある人がいる」9.2%、「手話のできる職員がいる」3.7%となっている。

地域別にみて「いずれでもない」が多いのは北海道、北陸、東北であり、50%を割っているのは南関東である。

「障害者を迎えるための職員研修を実施している」の回答は、南関東(51.1%)、中国(42.7%)において目立つて多く、「視覚障害者に対して館内案内ができる職員がいる」の回答が多いのも南関東であった(31.2%)。

《問2-3》貴施設の職員について、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)

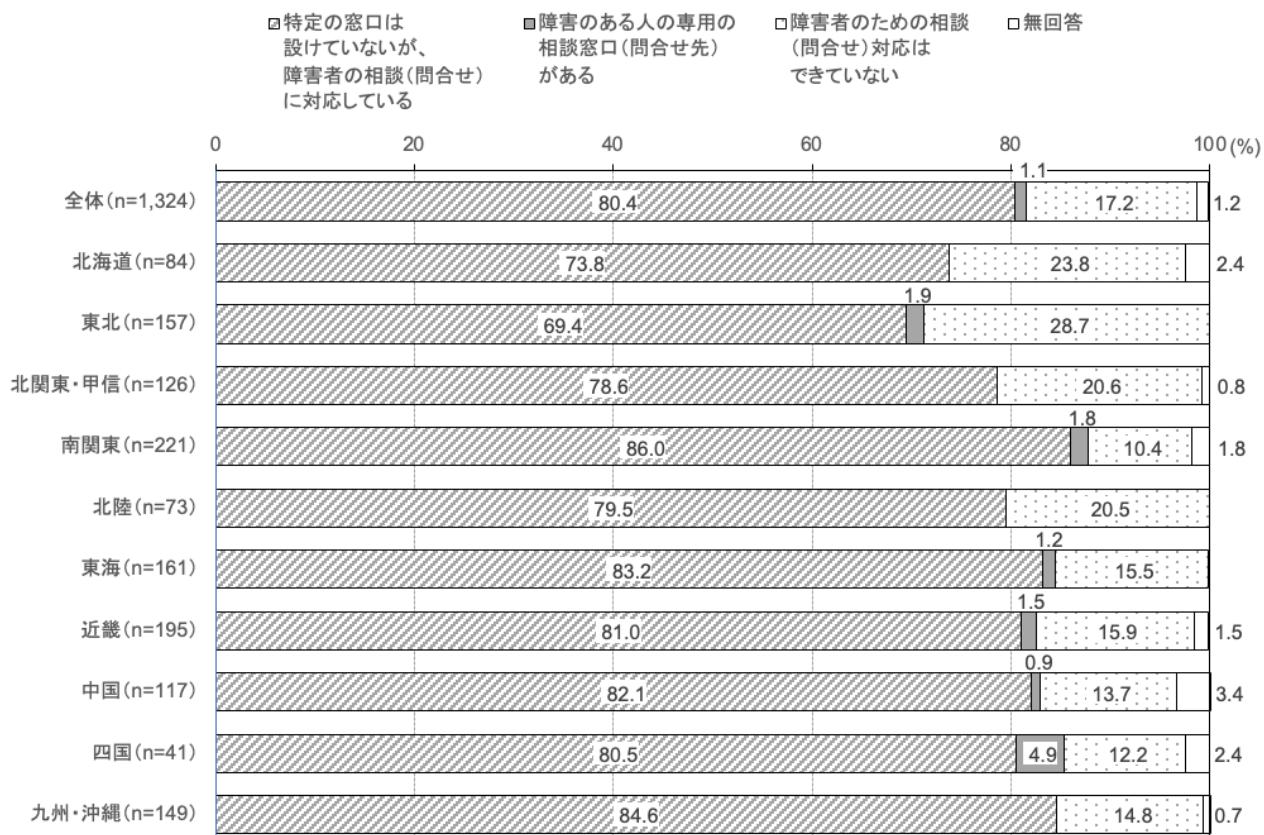


窓口対応

「特定の窓口は設けていないが、障害者の相談（問い合わせ）に対応している」が80%を超える一方、「相談（問い合わせ）対応はできていない」が17.2%となっている。「専用の相談窓口（問い合わせ先）がある」は1.1%とかなり少ない。

地域別にみると、「対応している」は南関東（86.0%）、九州・沖縄（84.6%）が多く、「対応はできていない」は東北（28.7%）、北海道（23.8%）が多かった。

《問2-4》 貴施設の窓口対応についてご回答ください。



施設の主催事業における鑑賞サポート

鑑賞サポートとして行っているサービスをたずねたところ、20%を超えたのは「受付で手話や筆談対応が可能である」（38.0%）、「音声補聴システムがある」（25.6%）であった。3位は「手話通訳がある」15.5%である。

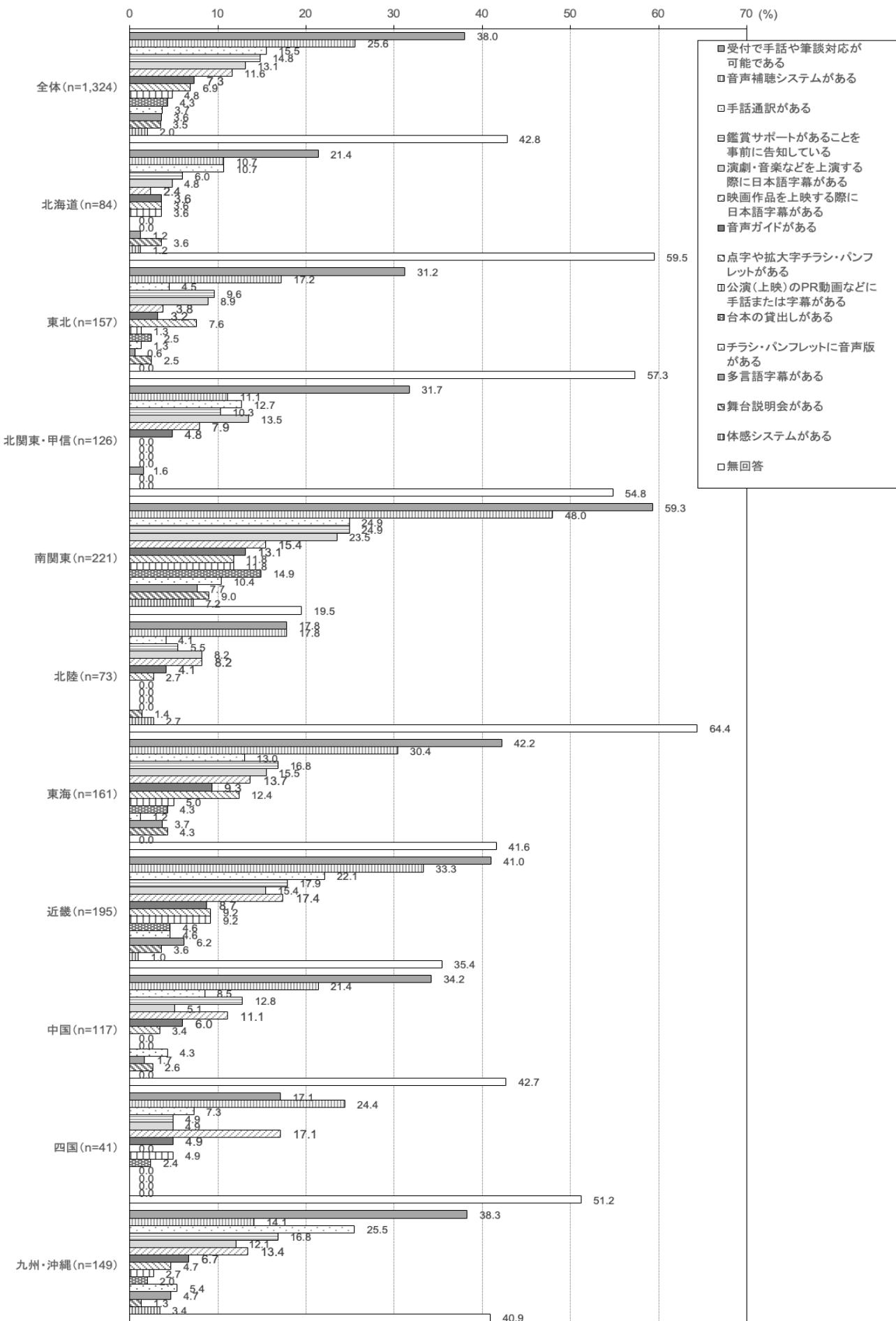
一方、10%を割ったのは、「音声ガイドがある」（7.3%）、「点字や拡大字チラシ・パンフレットがある」（6.9%）、「公演（上映）のPR動画などに手話または字幕がある」（4.8%）、「台本の貸出しがある」（4.3%）、「チラシ・パンフレットに音声版がある」（3.7%）、「多言語字幕がある」（3.6%）、「舞台説明会がある」（3.5%）、「体感システムがある」（2.0%）であった。

地域別にみると、上位2項目が全体より多かったのは南関東である。「受付で手話や筆談対応が可能である」（59.3%）、「音声補聴システムがある」（48.0%）が全体より20ポイント以上高い。

なお、四国においては「受付で手話や筆談対応が可能である」（17.1%）よりも「音声補聴システムがある」（24.4%）が多く、上位2項目の順位が逆転している。

九州・沖縄では「音声補聴システムがある」（14.1%）よりも「手話通訳がある」（25.5%）が2位であり、2位と3位の順位が逆転している。

《問2-5》貴施設の主催事業における鑑賞サポートについて、あてはまるものを選んでください。一度だけの実施でもかまいません。（複数回答可）



4. ホール（劇場）の設備について

ホールの規模

1,324ホールの規模は次表のとおりである。「客席数490席以下」が最も多く37.0%、次いで多いのが「500～999席」の30.7%となっている。

地域別にみて、全体より10ポイント以上多かったのは、北陸の「500～999席」で42.5%であった。

「客席数5,000席以上」のホールとしては12件の回答があった。

北海道立真駒内公園屋内競技場（真駒内セキスイハイムアイスアリーナ）（北海道）、いわみざわ公園野外音楽堂（北海道）、宮城県総合運動公園セキスイハイムスパーアリーナ（宮城県）、味の素スタジアム（東京都）、横浜アリーナ（神奈川県）、横浜 Buntai（神奈川県）、豊田スタジアム（愛知県）、大阪城ホール（大阪府）、神戸ポートアイランドホール（兵庫県）、和歌山ビッグホール（和歌山県）、広島サンプラザホール（広島県）、広島県立総合体育館広島グリーンアリーナ（広島県）である。

ホールの規模

上段:度数 下段:%	合計	客席数 499席以下 のホール	客席数 500～ 999席の ホール	客席数 1,000～ 1,999席 のホール	客席数 2,000～ 2,999席 のホール	客席数 3,000～ 3,999席 のホール	客席数 4,000～ 4,999席 のホール	客席数 5,000席 以上の ホール	平土間 (多目的ス ペース)	無回答
全体	1,324 100.0	490 37.0	406 30.7	269 20.3	41 3.1	3 0.2	3 0.2	12 0.9	93 7.0	7 0.5
地域 ブロッ ク	北海道	84 100.0	31 36.9	24 28.6	18 21.4	2 2.4	- -	- -	2 2.4	7 8.3
	東北	157 100.0	58 36.9	43 27.4	31 19.7	4 2.5	1 0.6	1 0.6	1 0.6	17 10.8
	北関東・甲信	126 100.0	45 35.7	43 34.1	29 23.0	4 3.2	- -	- -	- -	5 4.0
	南関東	221 100.0	95 43.0	52 23.5	50 22.6	9 4.1	1 0.5	- -	3 1.4	11 5.0
	北陸	73 100.0	22 30.1	31 42.5	11 15.1	2 2.7	- -	- -	- -	7 9.6
	東海	161 100.0	60 37.3	48 29.8	39 24.2	3 1.9	1 0.6	1 0.6	1 0.6	7 4.3
	近畿	195 100.0	81 41.5	50 25.6	33 16.9	8 4.1	- -	- -	3 1.5	15 7.7
	中国	117 100.0	34 29.1	40 34.2	26 22.2	5 4.3	- -	- -	2 1.7	10 8.5
	四国	41 100.0	16 39.0	15 36.6	6 14.6	1 2.4	- -	- -	- -	3 7.3
	九州・沖縄	149 100.0	48 32.2	60 40.3	26 17.4	3 2.0	- -	1 0.7	- -	11 7.4

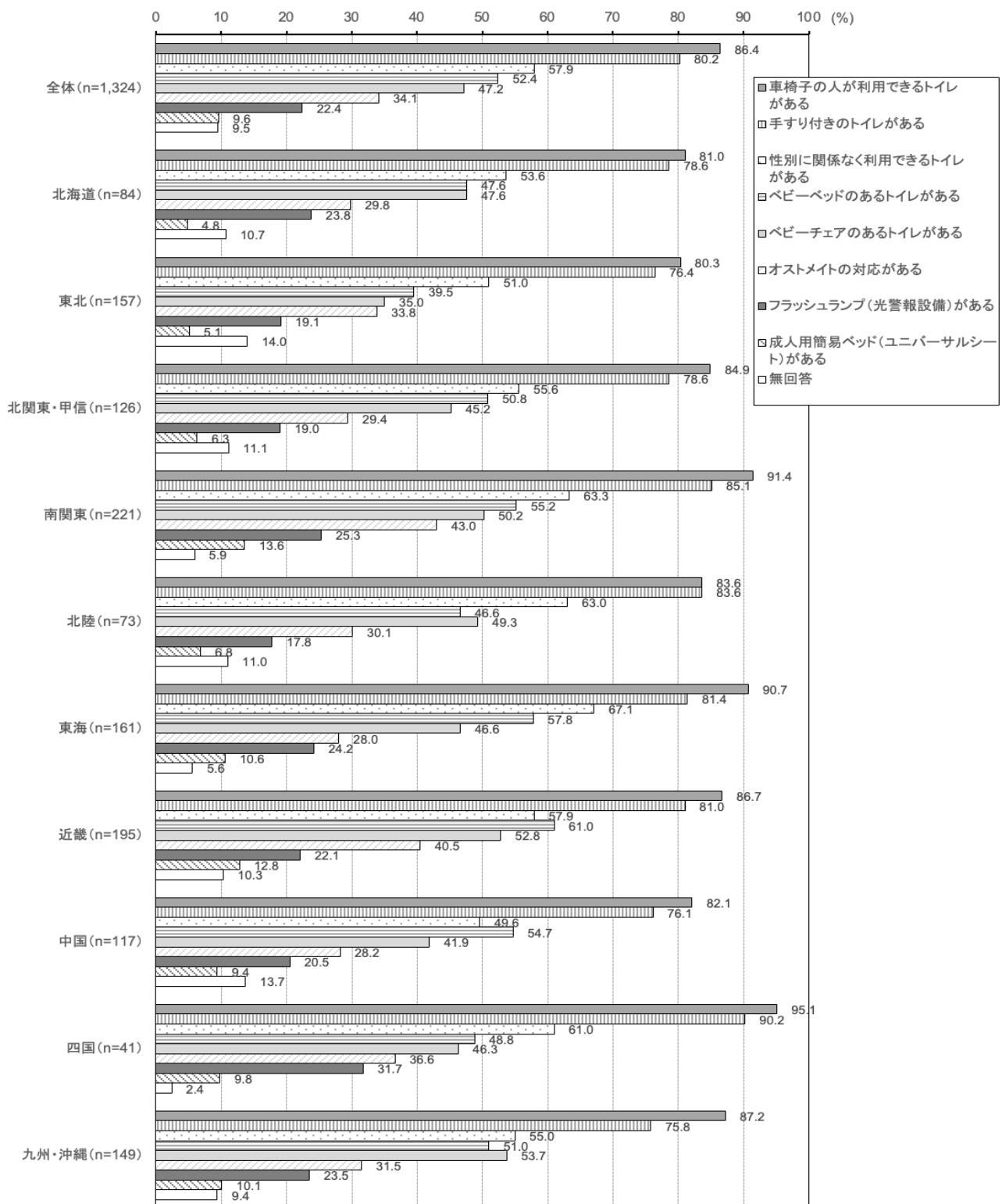
ホールホワイエのトイレ

施設トイレに関する設問とは別に (p.11) 、ホールホワイエのトイレについても同じ選択肢でたずねた。文化会館、市民会館においては施設構造的にホール機能が分けられていない場合があり、「同じトイレを指すのだが」という断り書きもみられた。順位は施設トイレと同じであるが、各項目で5~15ポイント低くなっている。

80%以上の項目は「車椅子の人が利用できるトイレがある」 (86.4%) 、「手すり付きのトイレがある」 (80.2%) であった。これに次ぐのが「性別に関係なく利用できるトイレがある」 (57.2%) 、「ベビーベッドのあるトイレがある」 (52.4%) 、「ベビーチェアのあるトイレがある」 (47.2%) であった。

地域別にみると、全体より10ポイント以上差違のある地域・項目はなかったが、南関東では全ての項目において全体より若干高くなっている。

《問3-3》ホールのトイレについて、あてはまるものを選んでください。 (複数選択可)

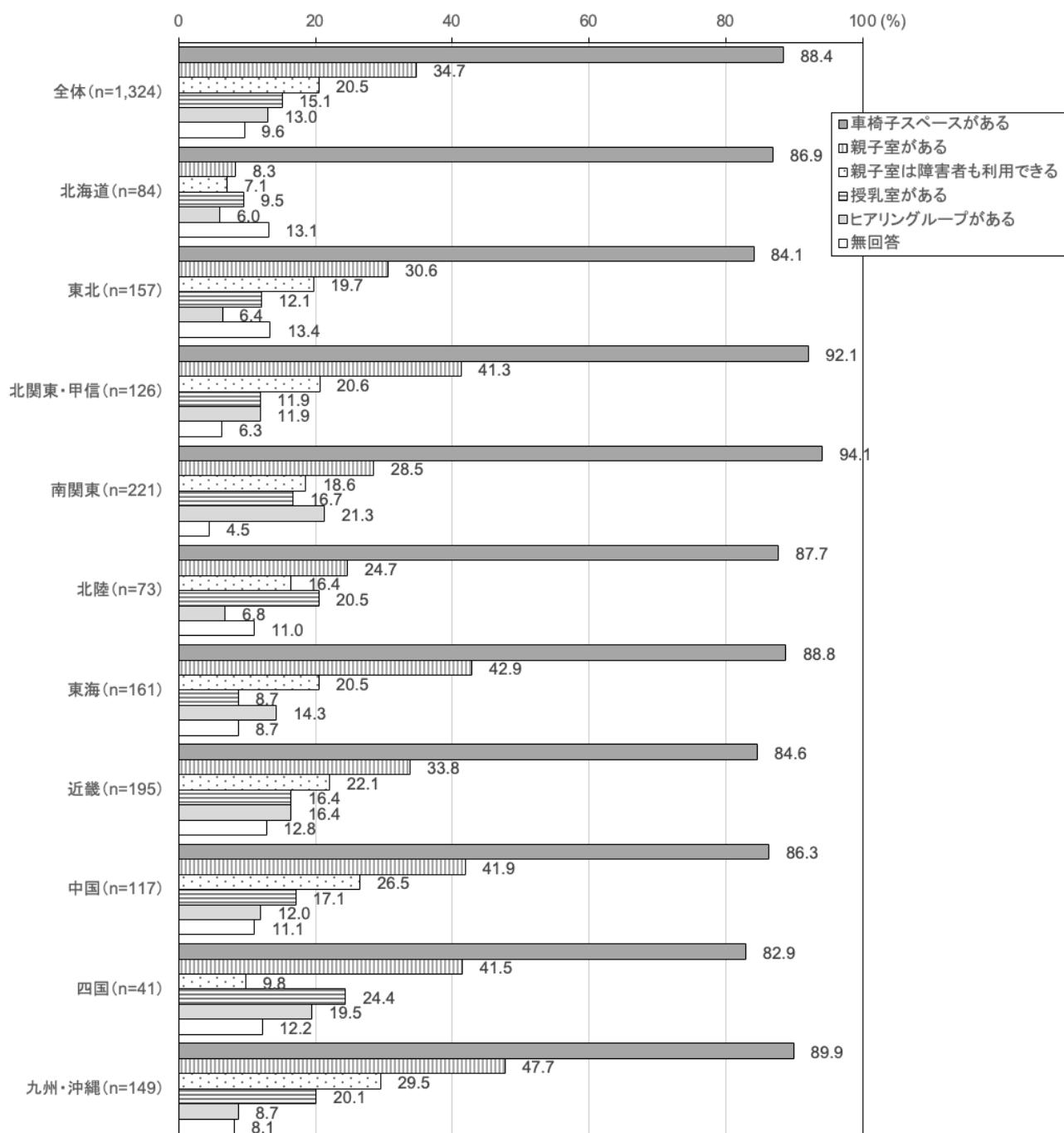


ホールの客席

「車椅子スペースがある」が88.4%と非常に高い。「親子室がある」は34.7%であったが、九州・沖縄においては47.7%と全体より10ポイント以上高かった。

近年、公共の場で設置が増えつつある「ヒアリングループ」も13.0%と健闘しており、特に南関東（21.3%）、四国（19.5%）が他地域よりも高かった。

《問3-4》ホールの客席について、あてはまるものを選んでください。ステージ、客席の設置位置が変動する場合は「複数エリ ア」を選んでください。（複数選択可）

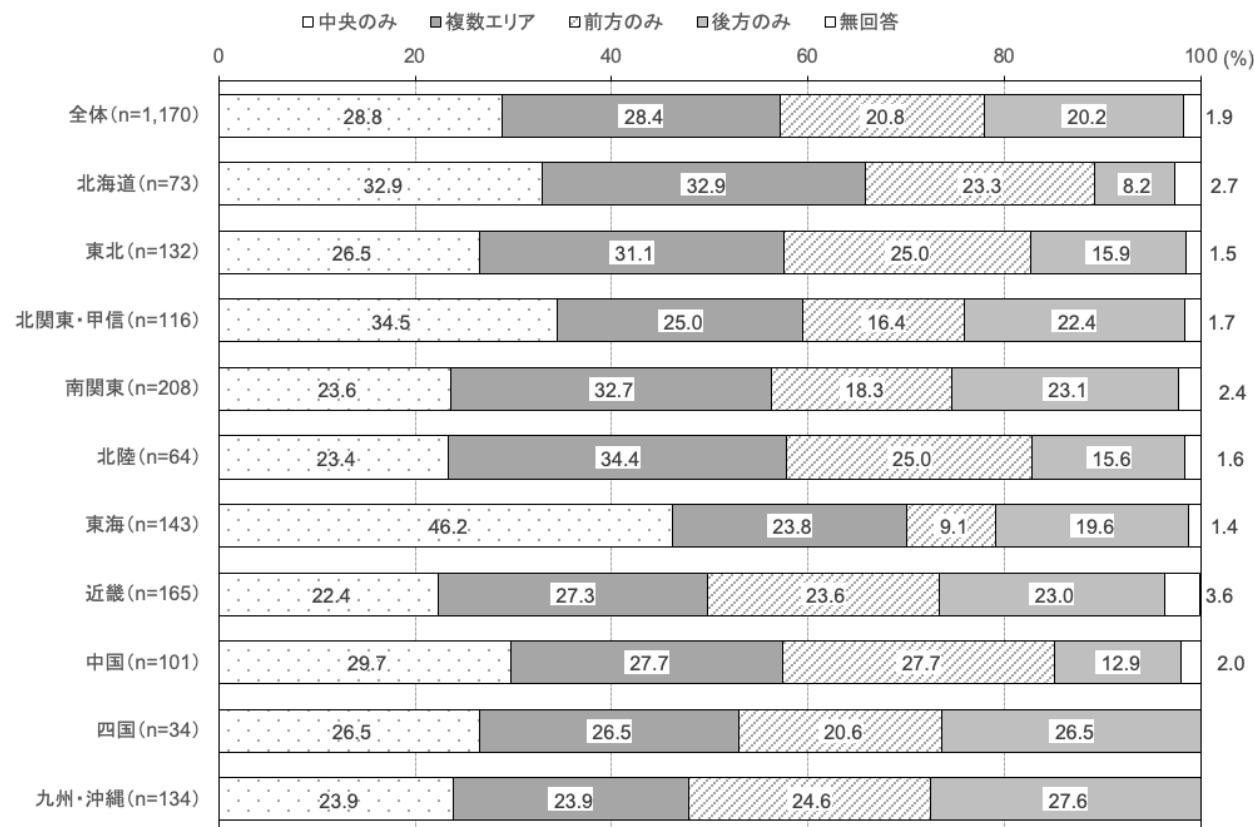


客席内、車椅子スペースの位置

88.4%と多かった「車椅子スペースがある」(n=1,170)について、どの位置にあるかをたずねたところ、「中央のみ」(28.8%)、「複数エリア」(28.4%)、「前方のみ」(20.8%)、「後方のみ」(20.2%)の順であるが、順位をつけるほどの差違はみられなかった。

地域別にみると、東海は「中央のみ」が46.2%と目立って多い。

客席内、車椅子スペースの位置

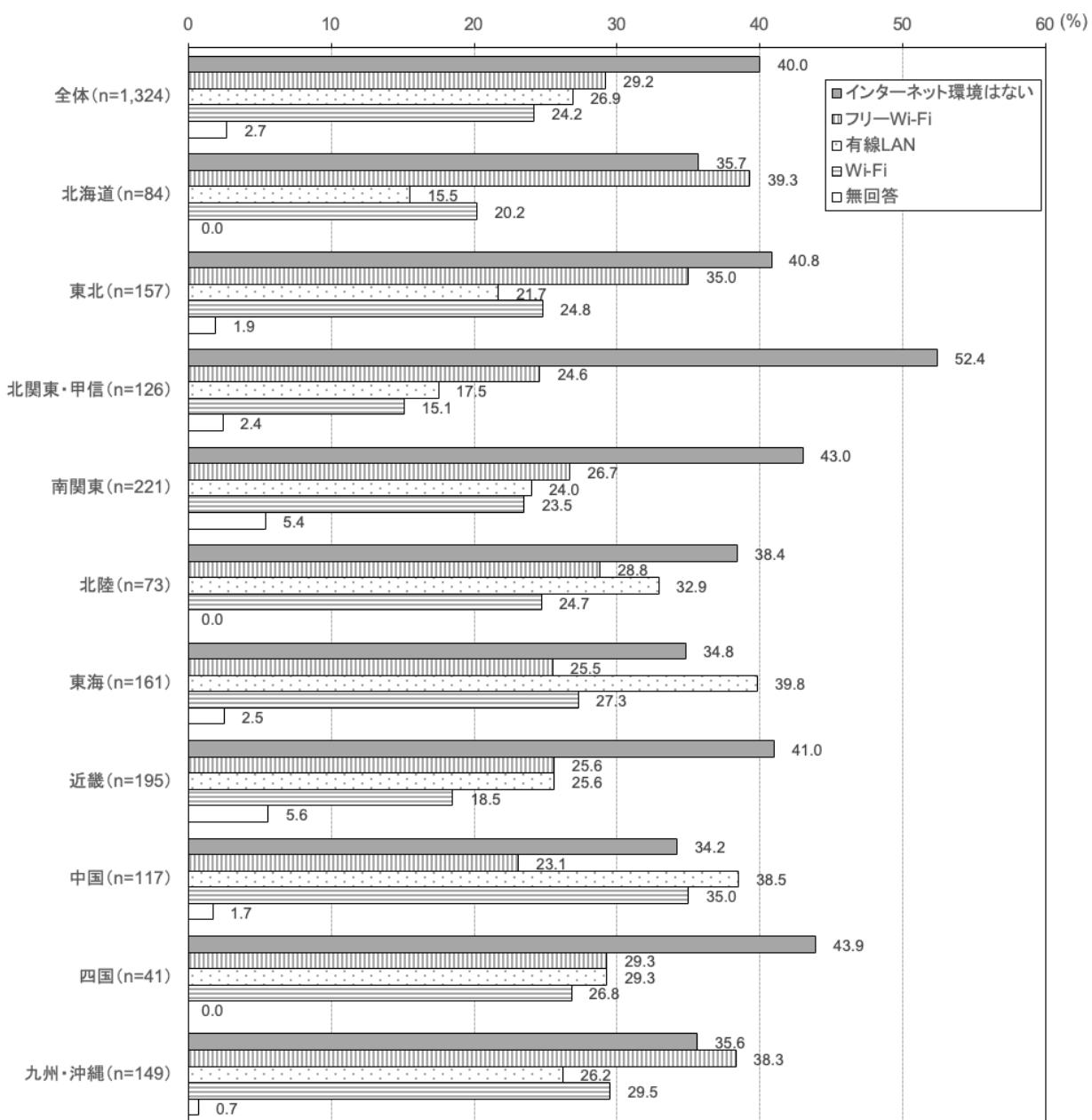


ホール内のインターネット環境

情報通信技術（ICT）を活用した情報保障支援の環境整備促進にあたり、基礎的情報を得るために設問であったが、「インターネット環境はない」が40.0%ともっとも多かった。そのほかは「フリーWi-Fi」（29.2%）、「有線 LAN」（26.9%）、「Wi-Fi」（24.2%）の順である。

地域別にみると、「インターネット環境はない」は北関東・甲信で多く、52.4%であった。「フリーWi-Fi」は北海道で多く（39.3%）、「有線 LAN」は東海（39.8%）と中国（38.5%）で多かった。「Wi-Fi」は中国で多かった（35.0%）。

《問3-5》ホール内のインターネット環境についてお答えください。（複数選択可）



ホール内で利用できる通信会社

前回との関連であるが、「ドコモ」「ソフトバンク」「au」が80%以上のところでほぼ拮抗しており、地域的な差違もほとんどない。「その他」は地域によってバラツキがみられ12~30%となっている。

《問3-6》ホール内の携帯電話等の通信サービスの利用できる通信会社についてお答えください。（複数選択可）

